

平成26年度高次脳機能障害支援普及事業 計画

1 委託事業

(1) 支援拠点機関の設置 【継続実施】

松山リハビリテーション病院を支援拠点機関に指定し、高次脳機能障害者への相談指導、医療機関等への情報提供等を行う。

なお、支援拠点機関の設置及び運営は、県の委託事業として実施する。

○支援拠点機関の主な役割

- ・高次脳機能障害の「確定診断」
- ・相談指導
- ・リハビリ症例検討
- ・医療機関への情報提供・連携強化
- ・全国連絡協議会及び四国ブロック会議等への参加
- ・講習会の開催

(2) 相談支援コーディネーターの配置 【継続実施】

支援拠点機関に、相談支援コーディネーターとして木戸保秀医師・伊賀上舞医療ソーシャルワーカー・野間 裕史医療ソーシャルワーカーを配置し、相談支援、医療、福祉サービスの情報提供、関係機関等に対する助言・指導を行う。

なお、相談支援コーディネーターの配置は、県の委託事業として実施する。

○相談支援コーディネーターの主な任務

- ・市町等への指導
- ・相談指導
- ・高次脳機能障害者への訓練・支援プログラムの作成
- ・全国連絡協議会及び四国ブロック会議等への参加

(3) 相談支援協力機関の設置 【継続実施】

県保健所の圏域単位に相談支援協力機関を設置し、高次脳機能障害者及び家族に対する相談支援及び地域支援ネットワークの構築を図る。

なお、相談支援協力機関の設置及び運営については、県の委託事業として実施する。

○設置数 6機関

- |           |         |          |         |
|-----------|---------|----------|---------|
| ・(四国中央圏域) | HITO病院  | ・(西条圏域)  | 済生会西条病院 |
| ・(今治圏域)   | 片木脳神経外科 | ・(松山圏域)  | 伊予病院    |
| ・(八幡浜圏域)  | 大洲中央病院  | ・(宇和島圏域) | 市立宇和島病院 |

○相談支援協力機関の主な役割

- ・相談指導
- ・関係機関への情報提供・助言

2 県実施事業

(1) 高次脳機能障害支援連絡協議会の設置・開催 【継続実施】

○会長：首藤 貴（県医師会）

委員19名

- ・支援拠点機関
- ・相談支援協力機関（6機関）
- ・関係機関・団体（家族会「あい」、福祉サービス事業者、障害者職業センター、社会福祉士、理学療法士、作業療法士、臨床心理士、言語聴覚士、精神保健福祉
- ・精神科医師（愛媛大学医学部）
- ・リハビリテーション科医師（県医師会）
- ・行政関係者（心と体の健康センター、保健所、松山市）

○26年度開催計画

第1回

- ・開催時期 平成26年7月31日(木) 15:00~16:30
- ・開催場所 愛媛県身体障害者福祉センター 会議室
- ・協議事項 25年度事業実績  
26年度事業計画  
その他

第2回

- ・開催年月日 平成27年2月
- ・開催場所 松山市内
- ・協議事項 26年度事業実績見込み  
27年度事業計画  
その他

(2) 普及啓発事業

【継続実施】

○各保健所主催の研修会等

別紙参照

■高次脳機能障害支援拠点機関講習会

- ・主催 支援拠点機関(松山リハビリテーション病院)
- ・開催年月日 平成26年6月28日(土) 13:00~16:10
- ・開催場所 愛媛県医師会館 大ホール
- ・参加者 保健・医療・福祉関係者ほか 参加者 308名
- ・内容 支援拠点機関(松山リハビリテーション病院)報告  
家族会活動報告  
講演①「愛媛モデルの地域支援ネットワーク~三重モデルとの比較から~  
講師:徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部  
教授 白山靖彦  
講演②「高次脳機能障害支援の実際と今後の展望」  
講師:国立障害者リハビリテーションセンター学院長 中島八十一

■高次脳機能障害支援担当者会議

- ・主催 支援拠点機関(松山リハビリテーション病院)
- ・開催年月日 平成26年8月29日(金) 予定
- ・開催場所 支援拠点機関(松山リハビリテーション病院)
- ・参加者 保健・医療・福祉関係者ほか
- ・内容 講師:別府リハビリテーションコーディネーター・作業療法士  
講演「別府リハビリテーションセンターの取り組み」  
社会的行動障害に関する事例検討

■愛媛高次脳機能障害リハビリテーション講習会(予定)

- ・主催 支援拠点機関(松山リハビリテーション病院)
- ・開催年月日 年間 6回 各保健所ごとに共催で開催
- ・開催場所 県内 6保健所管内の開催予定場所
- ・参加者 当事者、家族、保健・医療・福祉関係者等
- ・内容 講演会  
講師:徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部地域医療福祉学分野  
教授 白山靖彦  
事例検討 ほか

(3) 患者訪問相談

【継続実施】

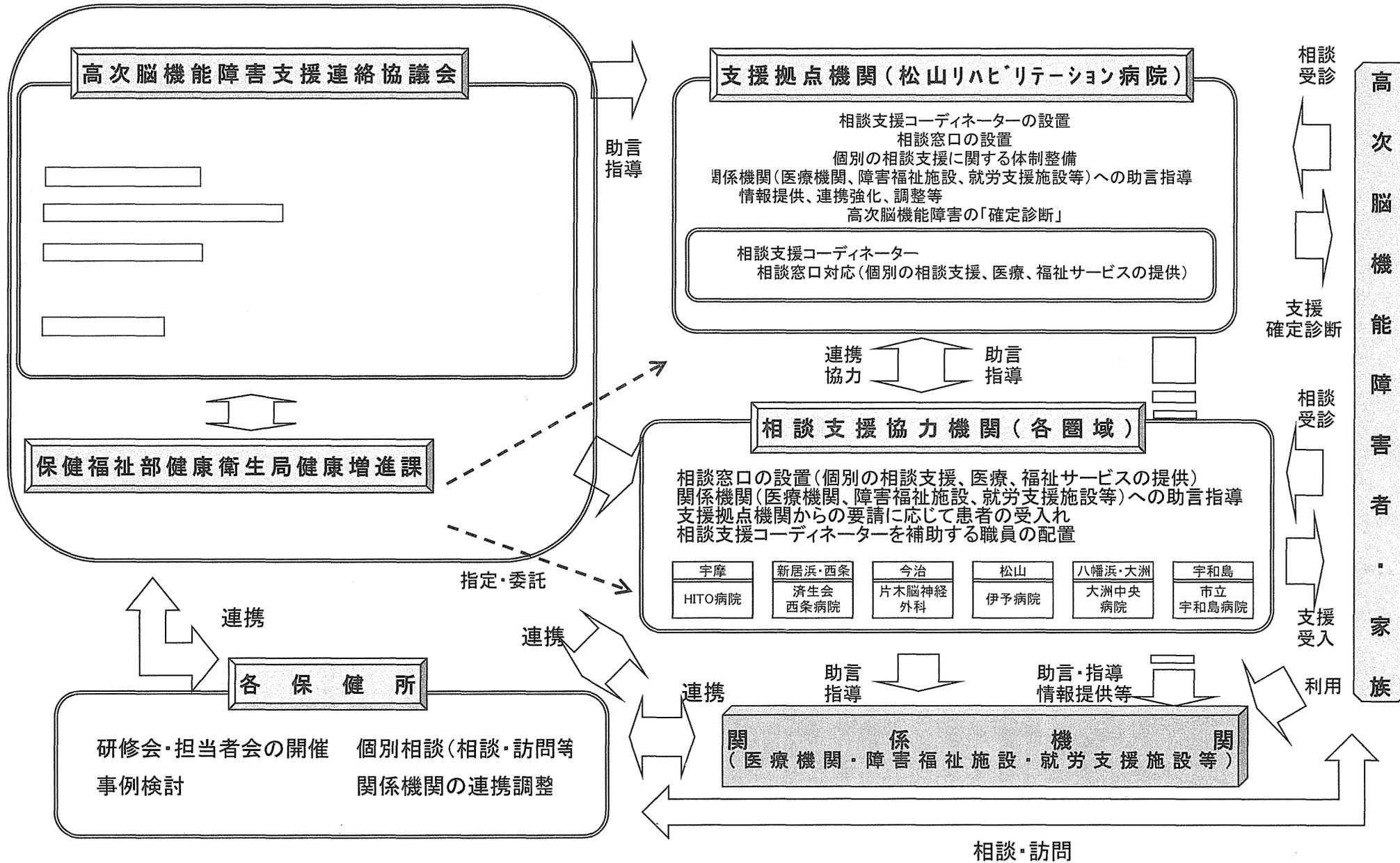
保健所保健師等による相談・訪問の実施

## 平成26年度保健所事業計画

	開催日	場所	会の名称	内容
四国中央	H26.5月	四国中央保健所	高次脳機能障害支援者連絡会	・情報交換「各機関の対応状況」 ・意見交換「管内の体制づくりと今年度の方向性」
	H26.9月	四国中央保健所	高次脳機能障害支援者連絡会	・事例検討「障害者への支援」
	H26.9月	四国中央市役所 (福祉会館)	高次脳機能障害支援者研修会	・講演 「高次脳機能障害の理解と地域での支援・連携」 講師 徳島大学大学院 教授 白山靖彦 ・情報提供「愛媛県拠点病院の取組み」 ・情報提供「家族会あいの取組み紹介」
	H27.1月	四国中央保健所	高次脳機能障害支援者連絡会	・事例検討「地域の支援」 ・意見交換「来年度の方向性」
	随時			・協力機関との協議 ・担当者会及び連携ワーキングへの出席 ・各種研修会等への参加 ・個別相談・訪問活動の実施
西条	H26.6.7	東予地方局7階 大会議室	高次脳機能障害支援研修会	・講演「高次脳機能障害の理解」 講師 徳島大学大学院 教授 白山靖彦
		東予地方局7階 中会議室	高次脳機能障害個別相談会	・松山リハビリテーション病院、済生会西条病院、西条保健所による相談
	H26.9月頃	西条保健所 健康増進室	高次脳機能障害担当者支援連絡会①	・各機関からの報告 ・事例検討「障害者支援について」
	H26.11月頃	西条保健所 健康増進室	高次脳機能障害担当者支援連絡会②	・意見交換「地域支援ネットワークの推進について」
	随時		個別相談	・電話・来所・訪問等による相談
	随時		会議、研修会等	・担当者会、他機関主催連絡会・研修会、「あい」定例会等
今治	H26.6.5	今治支局	高次脳機能障害支援関係者連絡会(1回)	・報告 作年度までの取り組み経過について 家族交流会について ・各機関からの報告 GW「〇〇があれば高次脳機能障害を持ちながらも 住み慣れた今治の地域で暮らしていける」
	H26.6.30	今治支局	高次脳機能障害支援関係者連絡会(WG)	・グループワークの課題整理
	H26.7.30	伯方保健 センター	島嶼部連絡会	・情報交換、課題共有
			研修会	・共催：松山リハビリテーション病院・今治市伯方包支援センター ・拠点機関活動紹介 ・あいの会活動紹介 ・講話「高次脳機能障害の理解と具体的な支援」 講師 白山教授
	H26.10月	今治支局	高次脳機能障害支援関係者連絡会(2回)	・情報交換、意見交換
	H26.10月	今治支局	研修会	・体験発表：体験を通して 発表者：高次脳機能障害者(交渉中) ・講話：具体的な支援について ・講師：松山リハビリテーション病院 作業療法士
	H26.10.3及 びH27.2月 予定	今治市総合 福祉センター	高次脳機能障害者家族のつど い	・交流会 *今治市社協と共催
	随時	随時	ケア会議	
	随時	随時	会議、研修会参加	
	H26.5月 H26.9月 H27.1月	福祉センター	「あい」定例会	

	開催日	場所	会の名称	内容
中予	H26.8.1	中予保健所	高次脳機能障害支援普及事業 (担当者会)	・学習会「高次脳機能障害について」 松山リハビリテーション病院 作業療法士 菅 隆一 氏 ・高次脳機能障害支援室の活動紹介 松山リハビリテーション病院 高次脳機能障害支援室 係長 伊賀上 舞 氏
	H26.10.1			・体験発表「当事者家族としての想い」 当事者家族 活動紹介 愛媛高次脳機能障害者を支援する会 会長 玉置 孝美 氏
	H26.12.10			・事例学習会「事例を通して家族支援を考える」 徳島大学大学院 教授 白山 靖彦 氏 ・報告会「各所属における普及啓発活動について」
	5回程度			各市町等
	随時	未定	ケア会議	・支援内容の検討
	随時	未定	個別相談	・電話・来所・訪問等による相談
	5回程度	未定	会議、研修会への参加	・「あい」定例会、協議会、連携ワーキング、担当者会、研修会等参加
	八幡浜	H26.9.9	八幡浜支局	高次脳機能障害支援普及事業 研修会
H26.7.11		八幡浜支局	担当者連絡会①	・情報交換:管内の対応状況など ・管内の体制づくり ・事例紹介 アドバイザー:松山リハビリテーション病院・大洲中央病院スタッフ等
H27.2月頃		八幡浜支局	担当者連絡会②	・事例紹介 ・管内の体制づくり ・次年度の方向性の検討 アドバイザー:松山リハビリテーション病院・大洲中央病院スタッフ等
随時		未定	ケース会議	・個別ケースへの支援方針等の検討
随時			個別相談	・電話・来所・訪問支援
随時				・協力機関との協議及び打ち合わせ会 ・高次脳機能障害担当者会及び連携ワーキングの出席(3回程度) ・各種研修会への参加(2~3回程度) ・「あい」定例会参加(3回)
宇和島	H26.8.19	南予地方局	支援関係者連絡会①	・事例検討会 ・意見交換 助言者:松山市障がい者南部地域相談支援 センター 相談支援専門員 西村幸
	H26.9.10	南予地方局	支援関係者研修会	・講演会 講師 徳島大学大学院 教授 白山靖彦
	H26.12月頃	南予地方局	支援関係者連絡会②	・事例検討会 ・意見交換
	随時			・個別相談 ・ケア会議 ・他機関主催の会への参加 ・担当者会及び研修会等(5回程度) ・「あい」定例会(3回程度)

# 高次脳機能障害支援普及事業の概要



## 平成25年度家族会「あい」の活動状況

愛媛高次脳機能障害者を  
支援する会「あい」

### 1 会員家族数

H24.12月末                  H25. 12月末                  H26.10月末  
32 →                          35 →                          38

賛助会員47名、支援者23名 総計108名で活動

### 2 25年度活動内容

#### 1) 定例会(交流会)実施状況

4月21日松山(24名) 5月19日今治(24名) 6月16日八幡浜(21名)  
7月21日松山(22名) 8月 お盆月の為休み 9月15日今治(21名)  
10月27日松山(バ-ベキュ- 23名) 11月3日リハビリ講習会 12月15日八幡浜(20名)  
1月19日今治(19名) 2月16日松山(22名) 3月16日八幡浜(14名)  
※合計11回開催、延べ216名の参加

#### 2) グル-プワ-ク「愛(え)くぼ」の活動

- ①毎月1回おもてなしカフェ、濱田旅館
  - ②毎週(水)(金)いろいろな活動を通して生活リハビリを実施
- ※平成26年3月末で休止しました

#### 3) 支援連絡協議会参加状況

拠点機関担当者会議 7月3日 県支援連絡協議会 8月5日、2月10日(2回)  
拠点機関講習会 8月10日  
西条保健所高次脳機能障害支援普及事業研修会 12月7日  
日本脳外傷友の会全国大会in大分 9月27・28日  
四国ブロック研修会(徳島リハビリ講習会) 11月16日  
交通事故被害者家族ネットワ-ク  
愛媛県6圏域保健所講習会(四国中央保健所、西条保健所、今治保健所、中予保健所、  
八幡浜保健所、宇和島保健所)

### 3 「あい」主催リハビリ講習会(損害補償協会助成)

開催日・場所 11月3日伊予病院7階大ホ-ル  
会の名称:愛媛高次脳機能障害リハビリ講習会  
参加人数:188名  
※平成26年度より松山リハビリテ-ション病院主催となります  
・愛媛県内保健書6圏域での講習会での活動紹介  
・ポスタ-、しおりの製作、配布

#### 内容

- 1. 講演「見えない障害を生きて」  
講師ノンフィクションライター-山田規久子氏
- 2. 講演「事故から拾った私の宝物」  
講師 家族会 清水 公子氏  
インタビュアー 中西純子氏

4 「あい」の事務所が変更になりました

住所:松山市高井町1211番地

松山リハビリテーション病院 高次脳機能障害支援室内

愛媛高次脳機能障害者を支援する会「あい」

電話:090- 6284- 5481

FAX:089- 975- 7433

5 平成26年度の計画

定例会(交流会)の実施

例年どおり松山、今治、八幡浜の三会場を巡回して実施します

・場所:松山/松山市総合福祉センター、今治/今治市総合福祉センター、八幡浜/八幡浜市保健福祉センター

・時間: 13:00~16:00

開催月	開催日	開催場所	開催月	開催日	開催場所	開催月	開催日	開催場所
4	20	松山	8	なし		12	21	八幡浜
5	18	今治	9	21	今治	1	18	今治
6	15	八幡浜	10	19	松山(BBQ)	2	15	松山
7	20	松山	11	16	松山	3	15	八幡浜

<香川県>

香川県高次脳機能障害支援普及事業について（平成24年～26年）

かがわ総合リハビリテーションセンター

支援コーディネーター 森川 麻理

I 各事業について

1 相談支援

(1) 相談実績内訳

① 実人数

年 度	新規	継続	合計
平成24年度	59	27	86
平成25年度	30	31	61

② 年代別人数

年 度	10代	20代	30代	40代	50代	60代
平成24年度	2	8	14	13	26	9
平成25年度	1	9	8	10	16	5

70代	80代	不明	合計
7	0	7	86
1	0	11	61

③ 相談延べ件数内訳

年 度	電話	来所	訪問	メール	合計
平成24年度	209	48	68	0	325
平成25年度	145	71	24	0	240

(2) 相談内容等について

- ・相談者に関しては、当事者・家族からと関係機関等からの割合がほぼ半々という状況である。
- ・相談内容については、診断・評価の希望は減少傾向にあり、すでに診断を受けている方の、今後のことについてという相談が増加している。そういう点で、病院のワーカーやケアマネジャー等、直接支援をしている関係機関の支援者からの相談が増えていることに繋がっていると考え。
- ・相談件数については、近年減少傾向にあるが、その理由の1つとして、受け皿となる社会資源が増えてきたことで、事業所を紹介して、そこに今後の支援を依頼し、うまくバトンタッチできていることもあると考える。

### (3) 今後の方向性について

地域でも相談ができる体制を整えるために平成 25 年度から、県内の各圏域で以前から実施されている障害者相談会（知的・精神・身体限定）に支援コーディネーター等が出向き、高次脳機能障害者の相談を同時に受ける（行政から地域住民に事前に周知しておく）場を作っている。昨年度は 2 市 2 町で実施し、今年度は県内全圏域で実施する。昨年に引き続き 2 回目の実施となる市町に関しては、少し進んだ方法での相談会を考えていく予定である。

## 2 普及・啓発

### (1) 活動内容

#### ①高次脳機能障害支援関係職員研修会（基礎的研修）・・・年 1 回実施

年度初めに、行政機関・相談支援事業所・サービス提供事業所等支援を行う職員を対象に実施。

#### ②高次脳機能障害教室・・・月 1 回実施

毎回テーマを変えて、対象は問わず、誰でも、いつでも参加できる研修会としている。

#### ③高次脳機能障害講演会・・・年 1 回実施

一般県民を対象に、高次脳機能障害の啓発を目的として、当事者・家族による体験発表の形で、講演会を実施。毎年実施会場を変え、県内各地で行っている。

平成 24 年度 柳 浩太郎氏（俳優）・・・木田郡

平成 25 年度 GOMA 氏（ミュージシャン）・・・まんのう町

平成 26 年度 TASKIE 氏（お笑い芸人）・・・さぬき市

#### ④救急指定病院への普及活動

病院退院後の、もしもの時のための対応について周知するための普及活動を実施している。障害についての説明と、ポスター・パンフの設置をお願いしている。

### (2) 今後の方向性について

普及・啓発活動については、地域における障害の認知度を上げることと、支援をしている機関の力をつけるという意味ではまだ十分とは言えないことから、今後も続けていく必要があると考える。

## 3 ネットワーク構築

### (1) 活動内容

①全国支援コーディネーター研修会、全国支援拠点機関連絡協議会、環瀬戸内ネットワーク会議、四国ブロック会議等に参加し、情報交換等を実施。

②香川県高次脳機能障害支援連絡協議会を年 1 回実施し、県内の主要機関とのネットワーク構築、相談支援体制の整備等についての協議を行っている。

③地域で相談会を実施することで、地域での支援者を育て、その機関と連携する仕組み作りを進めている。

④これまで診断・評価のほとんどを依頼していた香大病院だけではなく、地域の病院で、診断や評価、年金・手帳の申請書類等の作成をしていただけたところを増やす取り組みをしている。

## II まとめ

今後の事業の方向性として、相談支援については、支援拠点機関は 2 次的な立場となり、地域の行政や相談支援事業所・サービス提供事業所が、現場で 1 次的に相談を受け、その機関と支援拠点機関が連携して支援をしていくことを目指す。その為には、障害に対する普及・啓発を継続して行い、地域での相談体制を整えるために、協働での相談会を継続して実施し、相談の場を少しずつ地域へ移行させていくことを進める。また、小児の高次脳機能障害の実態が不明であることから、来年度、教育機関に協力を依頼して実態調査を行い、その中でニーズを明確にし、その対応を検討していく予定である。

<徳島県>

徳島県

(報告者 徳島県保健福祉部健康増進課 母子・こころの健康担当 井関 仁)

徳島県高次脳機能障害支援普及事業実績(H23年度～H25年度)

【研修会等】

		内容	講師等	参加人数
徳島保健所	H23年度	小松島市民生委員児童委員連絡協議会新年研修会 「高次脳機能障害とは？」	徳島赤十字ひのみね総合療育センター 社会福祉士 徳島保健所保健師	90
	H24年度	高次脳機能障害研修会	徳島障害職業センター障害者職業カウンセラー、 徳島保健所 保健師	16
	H25年度	研修会 「高次脳機能障がい者のリハビリ～通所介護を通して～」	サンガリハビリプラザとくしま 理事 北出 修子 先生	20
阿南保健所	H23年度	高次脳機能障害「特性と事例を通じた支援の実際」	徳島赤十字ひのみね総合療育センター 社会福祉士 北條誠一	90
	H24年度	コンタクトスポーツと頭部外傷および高次脳機能障害について	徳島大学大学院 ヘルスバイオサイエンス研究部 教授 永廣信治	47
	H25年度	研修会 「高次脳機能障がい者の理解と支援～災害時のケアについて」	横浜市総合リハビリテーションセンター 医療言語聴覚・心理課 臨床心理士 山口佳代子 先生	38
美波保健所	H23年度	講義 「心に寄り添うサポーターをめざして ～身近に起こり得るうつ病と高次脳機能障害～」	保健所 保健師	35
		講演 「高次脳機能障害の症状と支援の実際」	徳島大学大学院 ヘルスバイオサイエンス研究部 総合診療医学分野 講師	34
	H24年度	高次脳機能障害者関係検討会及び研修会 ・地域の相談支援の状況報告 ・事例対応における課題と今後の取組 ・高次脳機能障害の具体例について研修	保健所 保健師	13
	H25年度	講演 「高次脳機能障害の地域での支援について ～支援事例を通して～」	徳島大学病院 高次脳機能障害支援センター 言語聴覚士 中村和己 先生 (徳島県高次脳機能障害支援コーディネーター)	19
吉野川保健所	H23年度	講演 「高次脳機能障害について」	徳島県精神保健福祉センター	29
	H24年度	高次脳機能障害児の支援の実際について	徳島赤十字ひのみね総合療育センター 社会福祉士 北條誠一	24
	H25年度	「高次脳機能障害とは」	吉野川保健所 保健師	9
美馬保健所	H23年度	高次脳機能障害支援者交流会 「それぞれの機関ができること」	-	12
	H24年度	高次脳機能障害支援者交流会 「各機関の現状と課題について」	-	15
		高次脳機能障害支援者研修会 「高次脳機能障害者の就労支援について」	徳島障害職業センター 障害者職業カウンセラー 三隅梨都子 先生	17
	H25年度	高次脳機能障がい支援者交流会 情報交換・意見交換 「各機関の現状、普及啓発について」	-	16
		高次脳機能障がい支援者研修会 「高次脳機能障害の徳島県における支援の現状について」	徳島大学病院高次脳機能障害支援センター 言語聴覚士 中村 和己 先生 (徳島県高次脳機能障害支援コーディネーター)	19
		【美馬・三好保健所共催】 高次脳機能障がい当事者交流会 施設見学・レクリエーション・意見交換	-	19

徳島県高次脳機能障害支援普及事業実績(H23年度～H25年度)

【研修会等】

		内容	講師等	参加人数
三好保健所	H23年度	高次脳機能障害交流会	三好病院救急外科部長 依田 啓司 氏	42
	H24年度	研修会及び当事者交流会 ・若年者や成人者に対する就労支援と生活指導 ・障害福祉サービスの受け方について ・成年後見制度の活用方法について	・香川総合リハビリテーション福祉センター ・三好市障害福祉課 ・なつきソーシャルワーカーオフィス	30
	H25年度	高次脳機能障がい支援関係者研修会 「高次脳機能障がい者を就労や社会参加につなげる支援」	・講師：神奈川リハビリテーション病院 MSW 瀧澤 学 氏 ・座長：徳島大学病院 高次脳機能支援センター 言語聴覚士 中村 和己 氏	37
		【美馬・三好保健所共催】 高次脳機能障がい当事者交流会 施設見学・レクリエーション・意見交換 ※再掲	-	(19) ※再掲

精神保健福祉センター	H23年度	高次脳障害者に対する医療・福祉連携	徳島大学大学院 ヘルスバイオサイエンス研究部 保健科学部門 口腔保健学講座 地域医療福祉分野 教授 白山 靖彦 氏	72
		医療機関と福祉機関の連携について	-	14
	H24年度	高次脳機能障害 心と身体で支えるリハビリテーション	独立行政法人 国立成育医療研究センター リハビリテーション科 発達評価センター長 橋本圭司	64
		【地域支援ネットワークづくり検討会議】 ・現在の支援状況について ・就労支援について ・その他	-	25
	H25年度	高次脳機能障がい者を就労や社会参加につなげる支援	神奈川リハビリテーション病院 社会福祉士 瀧澤 学 氏	84
		【地域支援ネットワークづくり検討会議】 ①関連協力施設の支援体制と在宅相談者への対応について ②意見交換 ③情報提供	-	30

研修会等参加延べ人数(H23～H25)

960

【普及・啓発活動】

- ・高次脳機能障害の情報をホームページに公開
- ・普及・啓発カードの保健所及び市町村窓口等への設置
- ・高次脳機能障がいに関するポスター・パンフレットを作成し、関係機関へ配布。

【委託事業】

- ・平成25年度に、支援拠点病院に、コーディネーターを1年間配置し、精神保健福祉センター・保健所と連携を図りながら、重点的に、医療福祉等との顔の見える連携体制の構築を図る。

平成26年度徳島県高次脳機能障害支援普及事業計画

	内容		参加予定者
徳島保健所	【普及啓発】	高次脳機能障がいに関するパネル展実施	一般
吉野川保健所	【普及啓発】	研修会等の機会にパンフレットを配布	一般
阿南保健所	【研修会】	テーマ「高次脳機能障害の方への生活支援・就労支援について」 講師：徳島大学病院高次脳機能障害支援センター 支援コーディネーター 中村和己 氏 日時：平成27年1月27日	南部 I 障害者自立支援協議会構成機関
美波保健所	【研修会】	関係者研修会	地域の支援関係者
	【普及啓発】	広報誌等での普及啓発	地域住民
美馬保健所	【支援者会議】	情報交換・打ち合わせ	市町村福祉担当者、医療機関、相談支援事業所、就労支援事業所、保健所
	【研修会】	県内講師を招いての研修会	支援者
三好保健所	【当事者交流会】	家族会会長を招いての勉強会、レクリエーション、情報交換	当事者、家族、支援者
	【研修会】	県内講師を招いての研修会	当事者、家族、支援者
精神保健福祉センター	【研修会】	県外講師を招いての講演	関係者
	【会議】	地域支援ネットワークづくり検討会議 情報の共有と意見交換	関係機関・関係者

支援コーディネーター（中村和己）

県内研修会

徳島高次脳機能障害支援ネットワーク定例会，5回開催

全国会議

6月；高次脳機能障害支援Co. 全国会議出席

高次脳機能障害支援者連絡協議会出席

10月；高次脳機能障害支援Co. 全国研修会出席

学会発表

6月；日本言語聴覚学会発表

11月；日本高次脳機能障害学会発表（予定）

講師講演

10月；高次脳機能障害支援者研修会（美馬市）

啓蒙活動

高次脳機能障害啓発カードのリニューアル

県内の支援協力施設が12から15施設に

厚生労働科学研究費補助金（こころの健康科学研究事業）

（分担）平成 26 年度研究報告書

高次脳機能障害者の地域生活支援の推進に関する研究

研究分担者 蜂須賀 研二

門司メディカルセンター・院長

産業医科大学・名誉教授

研究要旨：①九州各県で高次脳機能障害支援を推進するために、九州各県から 13 名の九州ブロック委員を選任し、行政担当者と合同でのブロック会議、また 2 回の支援コーディネーター会議を開催した。ブロック会議では各県における研修会の内容、地域生活支援体制や支援実施状況等を報告し討論した。九州地区では 8 県 14 箇所の支援拠点機関を中心として、支援コーディネーターは（一部、医師や担当者を含む）18 名が配置され、相談件数は電話 3,370 件、来所 2,011 件、メール・書簡 278 件、その他 155 件であり、合計すると 5,814 件であった。また、各県内で主催した連絡会や協議会は 121 回、参加者 982 人であり、研修事業は 47 回、参加者は 4,708 人であった。②産業医科大学では高次脳機能障害者の地域生活支援の一環として、a) 高次脳機能障害者の自動車運転再開とリハビリテーションに関する研究 b) 経頭蓋直流電気刺激（tDCS）による注意障害の改善に関する研究 c) Trail Making Test 代替版作成に関する研究、d) 脳受容体シンチグラフィの外傷性脳損傷への臨床応用に関する研究、等を実施した。

A. 研究目的

九州各県内に少なくとも 1 名のブロック委員を任命し、支援コーディネーターと協力して高次脳機能障害支援システムを確立させ、各種相談や連絡会・協議会および研修会・研究会を開催し、より適切な支援活動を行うこと、また、産業医科大学では高次脳機能障害支援に直接関係する臨床研究を実施して、その結果を高次脳機能障害支援推進に活用するとともに、広く成果を公表して高次脳機能障害者および家族に還元することを目的とした。

B. 研究方法

九州各県を代表する医療関係者にブロック委員を依頼し、ブロック委員は行政担当者、支援コーディネーターと協力して地域生活支援推進と体制構築を図る。また、ブロック委員、行政担当者、支援コーディネーターが合同で参加する九州ブロック会議を平成 26 年度は福岡県と沖縄県の 2 回とし、それぞれの県における高次脳機能障害地域支援体制や実施状況に関する情報を交換し、相互に進捗状況や実施状況を確認し、支援推進と体制構築に役立てる機会を増

した。年度末にブロック委員および支援コーディネイターからの活動報告を基に集計する。

産業医科大学で実施した高次脳機能障害に関する臨床研究の方法は以下の通りである。

#### 1. 高次脳機能障害者の自動車運転再開とリハビリテーションに関する研究

自動車運転再開に関する指針を作成するために平成26年9月より14医療機関による簡易自動車運転シミュレーターを用いた多施設共同研究を開始した。平成26年9月27日には第2回自動車運転再開とリハビリテーションに関する研究会を北九州国際会議場で開催した。また、平成25年に開催した第1回運転リハ研究会の内容を書籍として刊行した（高次脳機能障害者の自動車運転再開とリハビリテーション〈1〉：蜂須賀研二編 金芳堂出版 2014）。

#### 2. 経頭蓋直流電気刺激（tDCS）による注意障害の改善に関する研究

高次脳機能障害者を対象に刺激群と Sham 群を設定し、tDCS 治療前後に注意機能評価や運転能力評価を実施し効果を確認する研究を実施した。

#### 3. Trail Making Test 代替版作成に関する研究

健常者35名においてTrail making test にWagnerら（2011）に準じた3種類の代替版を加えた4種の図版間について健常者35名を対象として成績を検討した。

#### 4. 脳受容体シンチグラフィーの外傷性脳損傷への臨床応用に関する研究

脳外傷後高次脳機能障害に対するIomazenil SPECT 共同研究（代表・東北大学森悦朗教授）へ参加した。

### C. 研究結果

#### 1. 九州ブロックの研究結果

#### 1)九州ブロック会議

厚生労働省「高次脳機能障害者の地域生活支援」研究班の趣旨に従い、昨年に引き続き各県1名（佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県）、高次脳機能障害のリハを実践している代表的立場の医師にブロック委員を依頼した。なお、福岡県は高次脳機能障害支援モデル事業に参加した拠点機関の3名をブロック委員、1名をオブザーバーとし、さらに事務局委員を2名とした。全体としてブロック委員は12名とした。

福岡県：

- ・北九州市 産業医科大学リハ医学講座・  
名誉教授 蜂須賀研二
- ・福岡市 福岡市立心身障がい福祉センター・  
医師 小原葉子
- ・筑後地区 久留米大学高次脳疾患研究所・  
教授 森田喜一郎
- ・福岡県域 福岡県身体障害者リハセンター・  
センター長 城戸久登(オブザーバー)

佐賀県：佐賀大学・教授 浅見豊子

長崎県：長崎大学・教授 松坂誠應

熊本県：熊本大学精神科・准教授 橋本 衛

大分県：諏訪の杜病院・院長 武居光雄

宮崎県：宮崎大学・教授 帖佐悦男

鹿児島県：鹿児島大学・教授 下堂蘭恵

沖縄県：ちゅうざん病院・院長 田中正一

#### 【事務局委員】

産業医科大学リハ医学 講師 岡崎哲也

産業医科大学病院 高次脳機能障害支援  
コーディネーター 中藤麻紀

#### 【事務局】

産業医科大学リハビリテーション医学講座

〒807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘

1-1 Tel 093-691-7266

平成 26 年度厚労省科研費研究班九州ブロック会議・高次脳機能障害支援担当者会議

日程:平成 26 年 7 月 25 日

吉塚合同庁舎

(1)「高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業平成 26 年度事業運営方針」

国立リハビリテーションセンター学院長  
中島八十一

(2)「日米におけるリハビリテーション医療の比較」

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科・教授  
下堂園 恵

(3)「各県の取り組み状況」(平成 25 年度の成果および 26 年度の事業計画)

福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、熊本県、鹿児島県、宮崎県、沖縄県の支援コーディネーターが各県における研修会の開催、地域生活支援や実施状況等に関して報告した。全ての県に支援拠点機関が開設され、支援コーディネーターが配置されている。今後は支援内容や提供できるサービスの質を向上させる必要がある。

## 2)九州地区の活動の概要

本年度は九州全県に少なくとも 1 カ所以上の高次脳機能障害支援拠点機関が設置され合計 14 カ所となった。高次脳機能障害支援コーディネーターは各機関に 1 名以上配属され、合計 18 名であった(サブコーディネーターを除く)。

相談件数は電話 3,370 件、来所 2,011 件、メール・書簡 278 件、その他 155 件であり、合計すると 5,814 件であった。また、各県内で主催した連絡会や協議会は 121 回、参加者 982 名であり、研修事業は 47 回、参加者は 4,708 名であった。

各県の高次脳機能障害支援拠点機関と支援コーディネーター(含む担当医、担当者)を下記に示

す。

### 福岡県

- 福岡県障害者リハビリテーションセンター  
〒811-3113 古賀市千鳥3-1-1  
TEL 092-944-1041  
下濱 和義 (社会福祉士)  
秋竹 理美 (社会福祉士)
- 産業医科大学病院 医療支援課  
〒807-8556  
北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1  
TEL 093-603-1611 (代)  
中藤 麻紀 (臨床心理士)
- 福岡市立心身障がい福祉センター  
(あいあいセンター)  
〒810-0072 福岡市中央区長浜1-2-8  
TEL 092-721-1611  
和田 明美 (理学療法士)
- 久留米大学病院 高次脳疾患研究所  
〒830-0011 福岡県久留米市旭町67  
TEL 0942-35-3311 (代)  
弥吉 江理奈 (精神保健福祉士)

### 佐賀県

- 佐賀大学医学部附属病院  
先進総合機能回復センター  
(リハビリテーション科)  
〒849-8501 佐賀市鍋島 5-1-1  
TEL 0952-34-3285  
小野 茂伸 (言語聴覚士)

### 長崎県

- 長崎こども・女性・障害者支援センター  
精神保健福祉課  
高次脳機能障害者支援班  
〒852-8114 長崎市橋口町10-22  
TEL 095-844-5515  
井戸 裕彦 (作業療法士)

## 熊本県

- 熊本県高次脳機能障害支援センター  
熊本大学医学部附属病院神経精神科内  
〒860-8556 熊本市本庄1-1-1  
TEL専門ホットライン 096-272-5784  
田中 希 (精神保健福祉士)

## 大分県

- 社会福祉法人 農協共済別府リハビリテーションセンター  
実践リハビリテーション部  
社会復帰支援課  
〒874-0840 大分県別府市鶴見 1026-10  
TEL 0977-67-1711 (代)  
安藤 靖浩 (精神保健福祉士)
- 医療法人 光心会 諏訪の杜病院  
リハビリテーション部  
〒870-0945 大分県大分市津守 888-6  
TEL 097-567-1277 (代)  
陰山 友紀 (言語聴覚士)

## 宮崎県

- 宮崎県身体障害者相談センター  
〒880-0032 宮崎県宮崎市霧島 1-1-2  
TEL 0985-29-2556  
平田 茂樹 (行政)  
有木 昌子 (保健師)

## 鹿児島県

- 鹿児島県高次脳機能障害者支援センター  
〒890-0021 鹿児島県小野 1-1-1  
TEL 099-228-9568  
尾上 佳代子 (保健師)

## 沖縄県

- 沖縄リハビリテーションセンター病院  
高次脳デイケア  
沖縄県沖縄市比屋根 2-15-1  
TEL 098-982-1863

鈴木 里志 (作業療法士)

平良 淳子 (精神保健福祉士)

- 医療法人へいあん 平安病院  
地域連携係  
〒901-2127 沖縄県浦添市字経塚 346 番地  
TEL 098-877-6467 (内線 230・237)

赤嶺 洋司 (臨床心理士)

徳元 裕子 (精神保健福祉士)

比嘉 弥生 (精神保健福祉士)

### 3) 各県の活動成果の報告

## 福岡県

### <支援拠点(協力)機関名>

福岡県障害者リハビリテーションセンター

〒811-3113

古賀市千鳥3丁目1番1号

### 【相談支援コーディネーター(職種)】

下濱 和義 (社会福祉士)

秋竹 理美 (社会福祉士)

### 【相談事業】

合計：227件

内訳：新規相談 142件

電話 120件

来所 11件

訪問 10件

メール 1件

：継続支援 85件

電話 19件

来所 59件

訪問 4件

メール 3件

### 【主催した連絡会・協議会】

○高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会

(1) 第1回高次脳機能障害相談支援体制連携

## 調整委員会

- ・平成26年 7月18日(金)
- ・吉塚合同庁舎 特5会議室(福岡市)
- ・参加者32名(オブザーバー含む)

## ○ネットワーク会議

### 第1回ネットワーク会議

- ・平成26年 5月20日(火)
- ・参加者 8名
- ・吉塚合同庁舎

### 第2回ネットワーク会議

- ・平成26年 9月11日(木)
- ・参加者 6名
- ・県庁行政棟

### 第3回ネットワーク会議

- ・平成26年10月 9日(木)
- ・参加者 6名
- ・県庁行政棟

### 第4回ネットワーク会議

- ・平成26年12月17日(水)
- ・参加者 7名
- ・クローバープラザ

### 第5回ネットワーク会議

- ・平成27年 1月31日(土)
- ・参加者 6名
- ・クローバープラザ

### 第6回ネットワーク会議

- ・平成27年 3月12日(木)
- ・参加者 7名
- ・県庁行政棟

## 【主催した研修事業】

### ○平成26年度高次脳機能障害支援事業研修会及び事例検討会

- (1) 高次脳機能障害支援実践セミナー  
(行政関係者編)
- ・平成26年 8月21日(水)

- ・クローバープラザ506研修室AB(春日市)
- ・参加者98名

#### ・概要

#### ①「高次脳機能障害支援事業について」

講師： 井手 大輔 氏

(福岡県保健医療介護部健康増進課こころの健康づくり推進室)

#### ②「高次脳機能障害について」 基礎編(講演)

講師： 岡崎 哲也 氏

(産業医科大学リハビリテーション医学講座  
講師)

#### ③「当事者の話」

#### ④「高次脳機能障害支援拠点機関の紹介」

福岡県障害者リハビリテーションセンター

産業医科大学病院

久留米大学病院

福岡市立心身障がい福祉センター

#### (2) 高次脳機能障害支援実践セミナー

(医療・福祉・教育等従事者編)

- ・平成26年12月17日(水)

- ・クローバープラザ508研修室AB(春日市)

- ・参加者110名

#### ・概要

#### ①「高次脳機能障害者の症状と対応について」 (講演)

講師： 岡崎 哲也 氏

(産業医科大学リハビリテーション医学講座  
講師)

#### ②「当事者・家族と事業所の話 ①」

#### ③「当事者・家族と事業所の話 ②」

#### (3) 高次脳機能障害講演会

- ・平成27年 1月31日(土)

- ・クローバープラザクローバーホール(春日市)

- ・参加者数136名

#### ・概要

①「高次脳機能障害者に対する医療のリハから生活のリハへ」 (講演)

講師：長谷川 幹 氏

(三軒茶屋リハビリテーションクリニック院長)

【主催したケース会議、勉強会、研究会、家族会、交流会等】

○ケース会議 70回

○高次脳機能障害研修会(生活訓練利用者家族)

【協力した会合】

○支援コーディネーター全国会議

第1回 平成26年6月24日(火)

国立障害者リハビリテーションセンター

第2回 平成27年2月19日(木)

スタンダード会議室 神谷町店

○高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会

第1回 平成26年6月25日(水)

国立障害者リハビリテーションセンター

第2回 平成26年2月20日(金)

スタンダード会議室 神谷町店

○厚労科研費研究班第1回九州ブロック支援コーディネーター会議

・平成26年 7月25日(金)

・吉塚合同庁舎 701会議室

○厚労科研費研究班九州ブロック会議・高次脳機能障害者支援担当者会議

・平成26年 7月25日(金)

・吉塚合同庁舎 702会議室

○厚労科研費研究班第2回九州ブロック支援コーディネーター会議

・平成26年12月4日(木)～12月5日(金)

・医療法人へいあん 平安病院(沖縄県)

・参加者数27名

○講師派遣

1. 厚労科研費研究班第2回九州ブロック支援コーディネーター会議

・平成26年 12月 4日(木)

・医療法人へいあん 平安病院(沖縄県)

(事例検討会)

・「社会的行動障害を主症状とした高次脳機能障害者の生活支援について」

・秋竹 理美 参加者27名

2. 「ふくおか県政出前講座」

・平成27年1月23日(金)

・愛風会 さく病院

・「高次脳機能障害の方を支援するために」

・下濱和義 参加者34名

【活動内容】

◇専門相談ホットラインによる相談受付

◇広報・啓発

ホームページに掲載

関係機関・病院を訪問しリーフレットを配布

◇自立訓練(生活訓練)を希望する利用者の受け入れ

(定員18名、平成27年3月現在18名)

◇月に1回専門医による面接、訓練指導および助言

◇家族支援相談会の開催

福岡県障害者リハビリテーションセンター(5回)

クローバープラザ(4回)

県保健福祉(環境)事務所(3回)

【事業課題】

・社会資源の情報収集

・関係機関との連携

・生活訓練利用者の家族支援

<支援拠点(協力)機関名>

産業医科大学病院 医療支援課

〒807-8556

北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1

TEL: 093-603-1611

【相談支援コーディネーター（職種）】

中藤 麻紀（臨床心理士）

【相談事業】

合計: 364 件

内訳: 新規相談	95 件
電話	67 件
来所	28 件
その他	0 件
: 継続支援	269 件
電話	132 件
来所	137 件
その他	0 件

\*平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 4 月 31 日

【主催した連絡会・協議会】

1. 福岡県高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会への参加

第 1 回高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会 平成 26 年 7 月 18 日 吉塚合同庁舎

参加者 31 名

2. 平成 26 年度厚労省科研費研究班九州ブロック会議・高次脳機能障害支援担当者会議（行政関係者）を開催

1) 第 1 回厚労省科研費研究班九州ブロック会議・高次脳機能障害支援担当者会議

平成 25 年 7 月 28 日 吉塚合同庁舎

参加者 26 名

(1)「高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業平成 26 年度事業運営方針」

国立リハビリテーションセンター学院長

中島八十一

(2)「日米におけるリハビリテーション医療の比較」

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科・教授

下堂園 恵

(3)「各県の取り組み状況」

福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、

熊本県、鹿児島県、沖縄県、宮崎県より

2) 第 1 回厚労省科研費研究班九州ブロック支援コーディネーター会議

平成 26 年 7 月 28 日 吉塚合同庁舎

参加者 13 名

(1) 各県の取り組みの発表及び意見交換

(2) 久留米大学病院、諏訪の杜病院より社会的行動障害への困難事例についての事例検討

3) 第 2 回厚労省科研費研究班九州ブロック支援コーディネーター会議

平成 26 年 12 月 4・5 日医療法人へいあん病院

参加者 27 名

(1)「高次脳機能障害とアパシー」

門司メディカルセンター 院長 蜂須賀研二

(2)「高次脳機能障害者と疲労」

産業医科大学 リハビリテーション医学講座 岡崎哲也

(3)「高次脳機能障害支援普及事業の歩みと展望」

国立障害者リハビリテーションセンター

学院長 中島八十一

(4) 各県の取り組みの発表及び意見交換、困難事例等について検討

(5) 小児の相談体制についての情報共有

3. 福岡県高次脳機能障害支援ネットワーク会議への参加

1) 第 1 回ネットワーク会議

平成 26 年 5 月 20 日 吉塚合同庁舎

2) 第 2 回ネットワーク会議

平成 26 年 9 月 11 日 福岡県庁

3) 第 3 回ネットワーク会議

平成 26 年 10 月 9 日 福岡県庁

4) 第 4 回ネットワーク会議